

第2章 ごみ処理基本計画

第1節 ごみ処理の現況

1. ごみ処理体制

平成27年度におけるごみ・資源物の分別区分と収集方法は、表2-1のとおりです。

平成27年1月から製品プラスチックの分別収集、平成27年4月から家庭系ごみの一部有料化を開始し、家庭系燃やすごみ（一部例外を除く）、燃えないごみについては、有料袋（指定収集袋）による排出となりました。

粗大ごみ、臨時ごみは申込みによる戸別収集方式ですが、その他のごみはクリーンステーション（ごみ集積所）収集方式です。

収集は、ごみ・資源物ともに直営と委託で実施しています。

また、クリーンステーションまでごみや資源物を運び出すことが困難な高齢者や障害者の世帯を対象に、週に1度、市職員が戸別に声をかけて安否の確認をしながらごみの収集を行う「声かけふれあい収集」を実施しています。

事業系ごみは、事業者自らの責任において適正に処理することが法令で定められています。市では収集を行わず、事業者が独自で収集・運搬、処理を行っています。

事業系ごみのうち燃やすごみと植木剪定材については、市の処理施設等にて受入れ、処理を行っています。

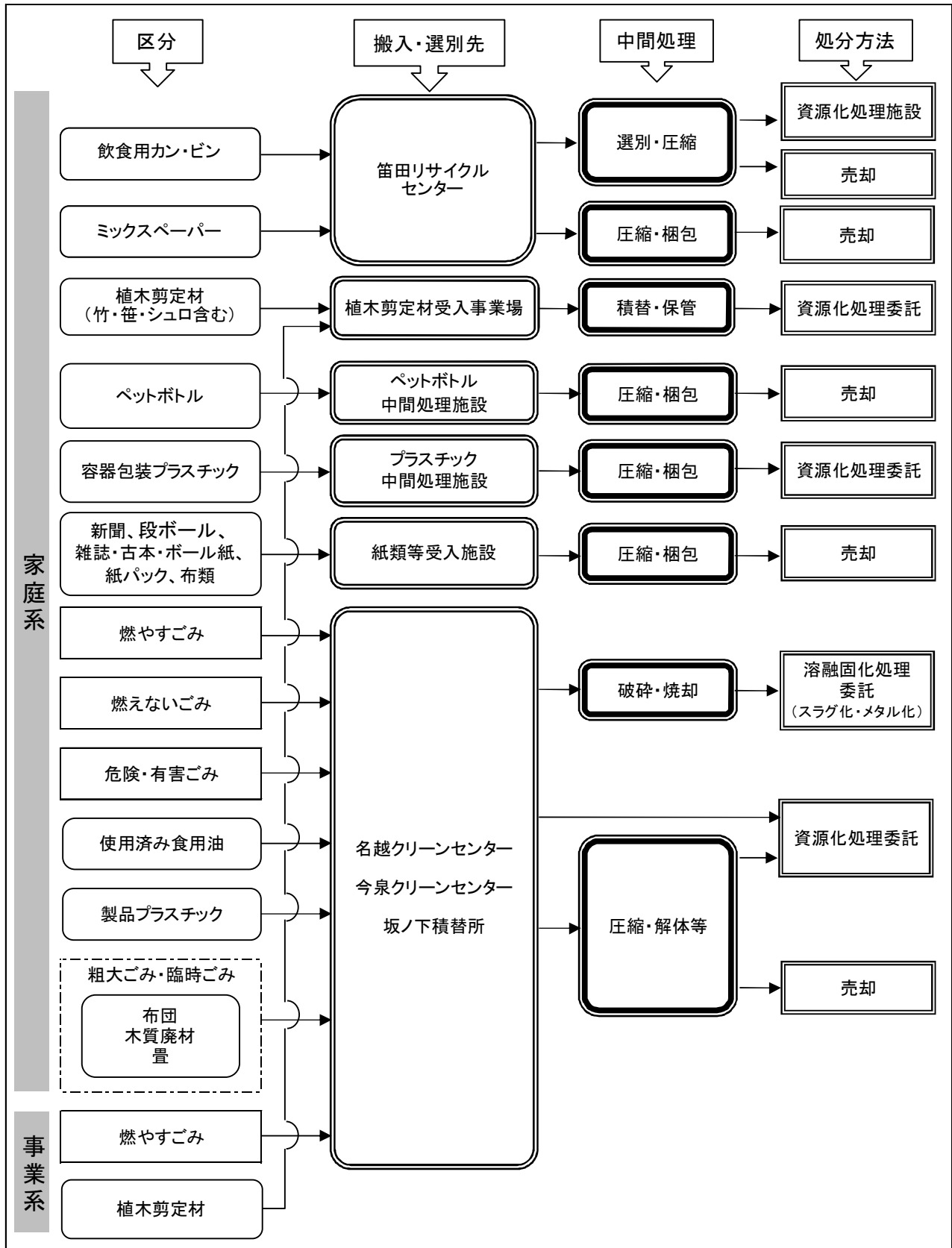
また、ごみ処理広域化については、葉山町を加えて平成28年5月に鎌倉市・逗子市・葉山町ごみ処理広域化検討協議会を設置するとともに、平成28年7月に覚書を締結しました。今後、ごみ処理広域連携に向けた具体的な役割分担や施策を検討していきます。

表2-1 ごみ・資源物の分別区分及び収集方法（平成28年4月現在）

		分別区分	排出方法	収集回数	収集方法
家庭系	資源物	飲食用カン・ビン	コンテナ	週1回	ステーション収集
		ペットボトル	透明・半透明袋	週1回	
		植木剪定材	透明・半透明袋、結束	週1回	
		布類	透明・半透明袋	週1回	
		使用済み食用油	ペットボトル	月1回	
		製品プラスチック	透明・半透明袋	月1回	
	紙類	ミックスペーパー	紙袋	週1回	ステーション収集・ 拠点回収
		新聞	結束	週1回	
		雑誌・古本・ボール紙	結束・紙袋（ボール紙のみ）	週1回	
		紙パック、段ボール	結束	週1回	
		容器包装プラスチック	透明・半透明袋	週1回	ステーション収集
	しりみ	燃やすごみ	有料袋（指定収集袋）	週2回	
燃えないごみ		有料袋（指定収集袋）	月1回		
危険・有害ごみ		透明・半透明袋、紙包	月1回		
	粗大ごみ・臨時ごみ	—	随時	自ら運搬又は 戸別収集（予約制）	
事業系	資源物	資源化可能な古紙	搬入先や収集運搬業者の 指定する方法	随時	自ら運搬又は 許可業者、 資源化業者 への委託
		布類		随時	
		植木剪定材		随時	
	しりみ	燃やすごみ	搬入先や収集運搬業者の 指定する方法	随時	

分別区分ごとの中間処理及び処分方法は図2-1のとおりです。

図2-1 分別区分ごとの中間処理及び処分方法（平成28年4月現在）

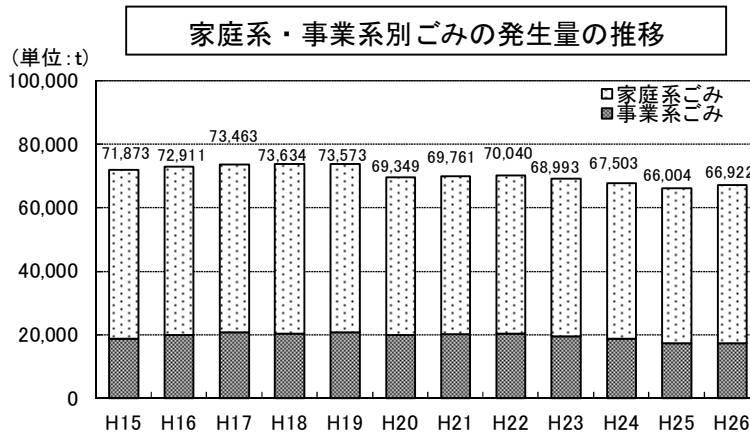


区分凡例：
 …資源物
 …ごみ

2. ごみ処理の実績

ごみ処理の実績は次のとおりです。なお、実績値は国・県への報告数値に基づき作成しています。

(1) ごみの発生量の推移

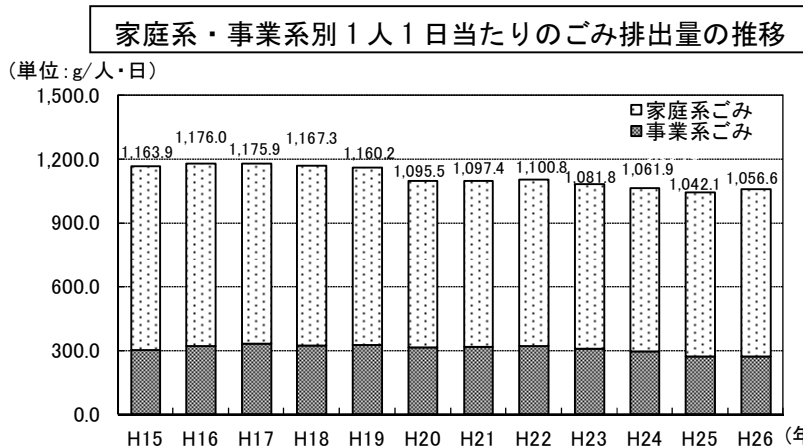


全体では、平成19年度以降、やや減少傾向となっています。内訳を見ると、家庭系ごみはやや減少傾向で、平成26年度は49,647tであり、事業系ごみは平成23年度以降減少傾向で、平成26年度は17,275tです。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
家庭系ごみ	53,321	53,079	52,857	53,316	52,985	49,470	49,636	49,702	49,483	48,797	48,779	49,647
事業系ごみ	18,552	19,832	20,606	20,318	20,588	19,879	20,125	20,338	19,510	18,706	17,225	17,275
合計	71,873	72,911	73,463	73,634	73,573	69,349	69,761	70,040	68,993	67,503	66,004	66,922

※市が処理する一般廃棄物の量

(2) 1人1日当たりのごみ排出量の推移

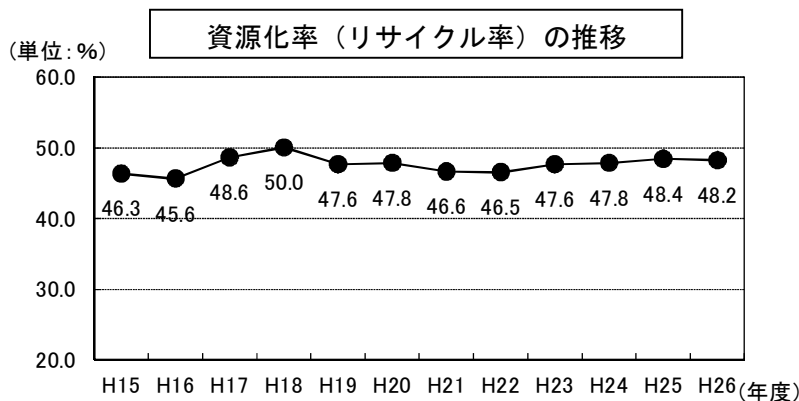


ごみの発生量と同様に、全体では、平成17年度以降、やや減少傾向となっています。平成26年度の家庭系ごみは783.8g/人・日、事業系ごみは272.7g/人・日まで減少しています。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
家庭系ごみ	863.5	856.1	846.1	845.2	835.5	781.5	780.8	781.2	775.9	767.6	770.2	783.8
事業系ごみ	300.4	319.9	329.8	322.1	324.7	314.0	316.6	319.7	305.9	294.3	272.0	272.7
合計	1,163.9	1,176.0	1,175.9	1,167.3	1,160.2	1,095.5	1,097.4	1,100.8	1,081.8	1,061.9	1,042.1	1,056.6

※市が処理する一般廃棄物の量/人口は国勢調査を基礎として推計

(3) 資源化率（リサイクル率）の推移

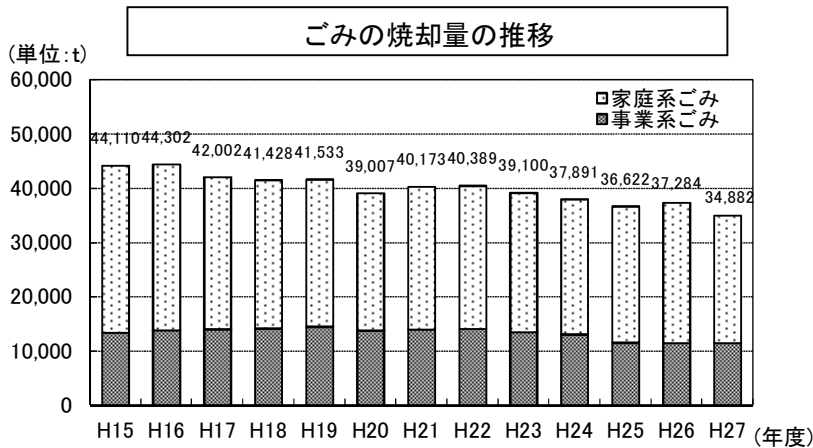


資源化率(リサイクル率)は、人口10万人以上の市町村の中で全国トップレベルとなっています。

平成26年度は48.2%であり、そのうち約16%分は植木剪定材の資源化によるものです。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
資源化率	46.3	45.6	48.6	50.0	47.6	47.8	46.6	46.5	47.6	47.8	48.4	48.2

(4) ごみ焼却量の推移



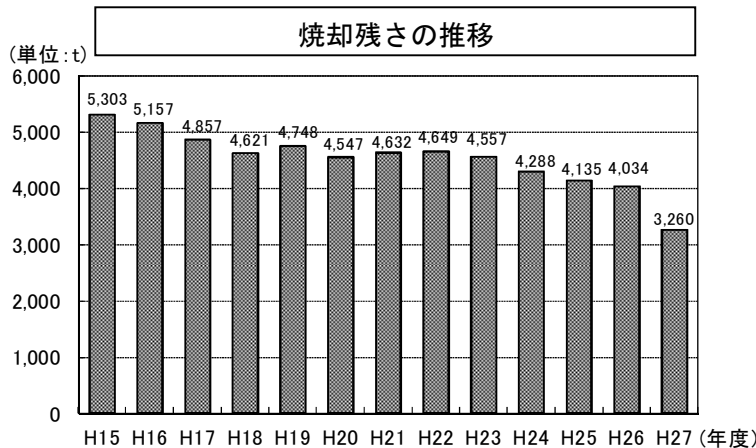
全体では、平成22年度以降減少傾向となっています。

内訳をみると家庭系ごみは減少傾向であり、有料化を実施した平成27年度は23,432tまで減少しています。

事業系ごみは平成25年1月のごみ検査機導入により、平成27年度は11,450tまで減少しています。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
家庭系ごみ	30,795	30,520	28,043	27,381	27,117	25,269	26,272	26,371	25,698	24,890	25,109	25,823	23,432
事業系ごみ	13,315	13,782	13,959	14,047	14,416	13,738	13,901	14,018	13,402	13,001	11,513	11,461	11,450
合計	44,110	44,302	42,002	41,428	41,533	39,007	40,173	40,389	39,100	37,891	36,622	37,284	34,882

(5) 最終処分

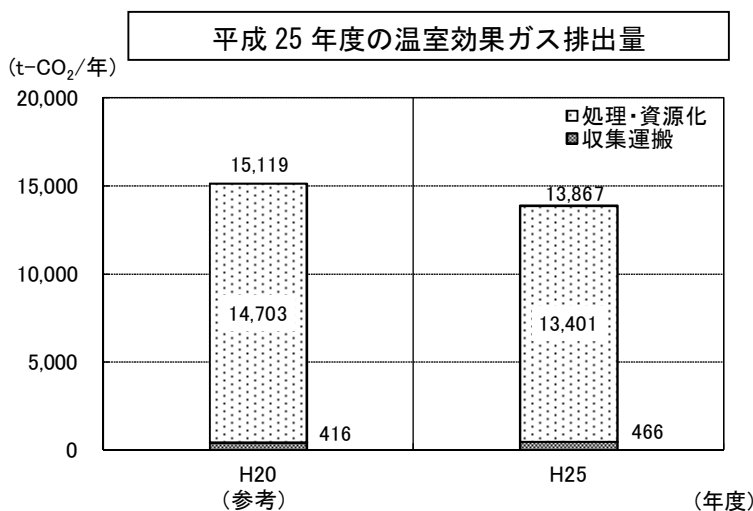


焼却残さの適正な処分及び資源化の推進を図るため、平成12年度から焼却残さの全量を溶融固化処理しており、最終処分に係る埋め立ては行っていません。

各年度の処理量は焼却量と比例して、平成15年度以降減少傾向であり、平成27年度は3,260tとなっています。

年度	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
焼却残さ	5,303	5,157	4,857	4,621	4,748	4,547	4,632	4,649	4,557	4,288	4,135	4,034	3,260

(6) 温室効果ガス排出量（環境負荷）の推移



環境負荷のうち、平成25年度の温室効果ガス排出量については、13,867t-CO₂となっています。算定範囲は全品目の収集運搬、処理・資源化の際の排出量（市域外を含む）としています。

ごみの総排出量や焼却量の減少に伴い、温室効果ガス排出量についても減少傾向にあると考えられます。

※ 平成20年度の温室効果ガス排出量推計は、笹田リサイクルセンターなどの中継施設から資源化・処理施設までの運搬時（二次輸送時）に発生する排出量を含んでいないため、平成25年度の排出量においても除外した値を使用しています。

(7) ごみ処理コスト

平成26年度までのごみ処理の収集・処理コストは表2-2のとおりです。

平成24年度からコストが増大していますが、消費税の増税（平成26年4月に5%から8%に増税）、名越クリーンセンター基幹的設備改良工事に伴う経費（減価償却費等）、委託業者の収集・処理単価の値上げ、一部地域で戸別収集モデル事業を実施したことなどが要因です。収集・処理単価については、毎年度見直しを行い、より環境負荷や処理コストの低減に努める必要があります。

表2-2 ごみ処理の収集・処理コスト

年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
人口(10月1日)	174,162人	173,523人	173,530人
世帯数(10月1日)	73,226世帯	73,328世帯	73,701世帯
経費	3,300,578,018円	3,434,077,429円	3,599,174,586円
収集・処理量	67,503t	66,004t	66,922t
ごみ	2,248,670,667円	2,324,500,380円	2,451,684,971円
	40,556t	39,323t	40,186t
1人当たり原価	12,911円	13,396円	14,128円
燃やすごみ 粗大ごみ 臨時ごみ	2,087,797,230円	2,154,797,194円	2,264,966,655円
	39,101t	37,821t	38,311t
燃えないごみ 危険有害ごみ 食用油	160,873,437円	169,703,186円	186,718,316円
	1,455t	1,502t	1,875t
資源物	1,051,907,351円	1,109,577,049円	1,147,489,615円
	26,947t	26,681t	26,736t
1人当たり原価	6,040円	6,394円	6,613円
飲食用カン・ビン	211,799,784円	211,869,267円	220,989,030円
	2,095t	2,101t	2,079t
新聞、段ボール 雑誌・ボール紙 布類	177,920,556円	181,582,352円	188,015,618円
	8,707t	8,693t	8,620t
ミックスペーパー 紙パック	133,209,413円	130,502,260円	137,630,008円
	2,604t	2,479t	2,436t
植木剪定材	227,411,519円	283,959,146円	300,439,284円
	10,867t	10,716t	10,897t
ペットボトル	114,866,756円	107,465,043円	95,709,960円
	511t	514t	503t
容器包装 プラスチック	186,699,323円	194,198,981円	200,568,800円
	2,163t	2,178t	2,188t
製品 プラスチック	—	—	4,136,915円
	—	—	13t

※ ごみ処理コストは、環境省の一般会計基準に準じて算出した結果です。

(8) 主な資源物の売却額

平成27年度までの主な資源物の売却額は表2-3のとおりです。

資源物の売却益は、市場の動向により変動しており、入札等により売却額が高く、適正処理できる業者を選択しています。

表2-3 主な資源物の売却額

品目	平成25年度		平成26年度		平成27年度	
	売却量(kg)	金額(円)	売却量(kg)	金額(円)	売却量(kg)	金額(円)
ペットボトル	514,130	15,839,615	503,370	21,745,584	505,100	13,637,700
アルミ缶	177,630	24,685,132	171,820	31,311,671	170,920	25,179,366
スチール缶	252,090	7,814,861	239,210	7,452,857	219,770	4,561,712
リターナブルビン	15,021	241	13,307	187	12,981	25,957
新聞	2,506,280	18,421,155	2,240,900	21,781,545	2,074,790	24,648,500
雑誌・ボール紙	3,071,130	12,898,746	3,143,510	20,369,943	3,093,810	23,333,652
段ボール	1,978,060	10,384,811	2,019,700	15,268,927	1,974,310	16,525,170
古布	935,130	6,873,203	1,055,640	7,980,633	1,020,460	7,157,869
使用済み食用油	37,950	1,793,135	38,950	1,261,980	43,710	1,085,751
ミックスペーパー	2,372,090	11,563,563	2,337,680	15,973,866	2,352,310	29,838,824
紙パック	106,630	1,847,360	98,110	1,748,316	93,470	2,372,264
製品プラスチック	—	—	13,080	130,800	82,650	826,500
合計	11,966,141	112,121,822	11,875,277	145,026,309	11,644,281	149,193,265

(9) 家庭系ごみの有料化に伴うごみ処理手数料

平成27年4月から、ごみの発生抑制を目的として家庭系燃やすごみ・燃えないごみの有料化を実施しています。

有料化に伴うごみ処理手数料（指定収集袋の売上金）の用途については、有料袋の作成費用や、ごみ減量・資源化に関する施策に使用するほか、ごみ処理施設の建設費用に充当するための基金に積立てています。

※平成27年度有料化に伴うごみ処理手数料

（歳入）指定収集袋の売上金	318,789,000円
（歳出）袋作成、流通に関する費用・啓発事業等	122,238,517円
一般廃棄物処理施設建設基金への積立	196,550,483円